



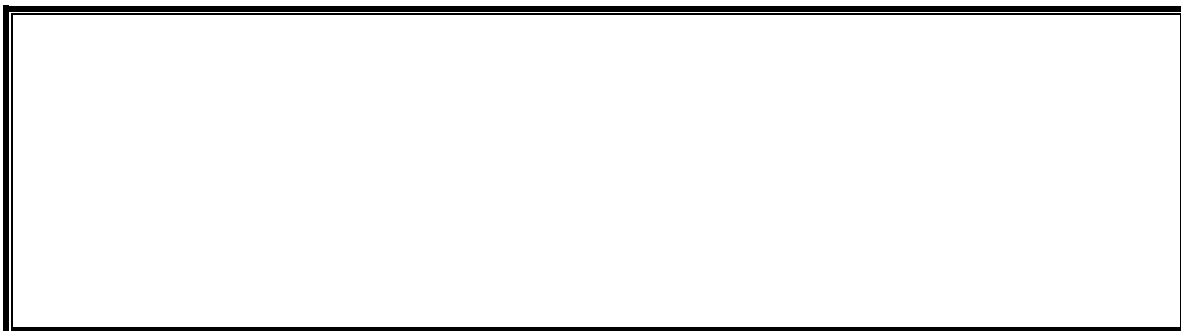
やよいじん

弥生人の暮らし

～米づくりのはじまり～

弥生時代には日本に米づくりが伝わったわり、それまでの狩りや木の実などを食料とする生活から、自分たちで作物をつくる生活が始まりました。

- 1 米づくりに使われた木でできた農具には、どのようなものがあるでしょう。展示されているものをよく見てかたんにスケッチしてみましょう。



- 2 『米づくり』につかわれたどうぐがあります。つぎのものをさがしてよく見てみましょう。見つかったら□にチェックをして、どうぐのなまえをかきましょう。

1 □



2 □



() () ()

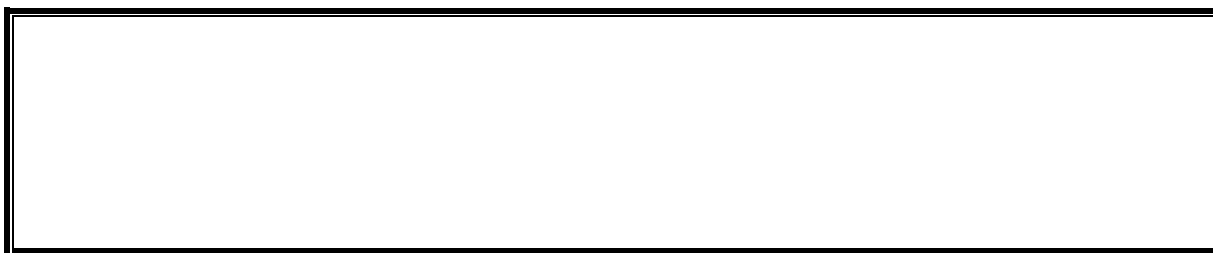
- 3 上の1の道具を使って、稲のどの部分をかりとったのでしょうか。

A 穂の部分を取りとった

B 根元から取りとった



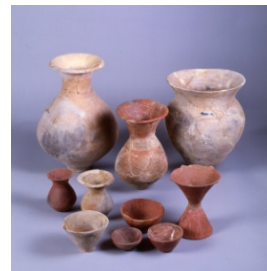
- 4 米づくりが始まって、縄文時代とくらべて生活や社会のようすがどうか変わったか考えてみましょう。





やよいびん
弥生人のくらし～やよいどき
弥生土器～

1 弥生土器は使いみちにおうじていろいろな形のものがつくられました。
それぞれの土器の形をかき、使い方の説明と線でむすびましょう。



つぼ

● ●

口が大きくひらいた形です。
煮炊きに使いました。

かめ

● ●

もりつけや祭に使いました。

たかつき

● ●

米やもみをたくわえておく
のに使いました。

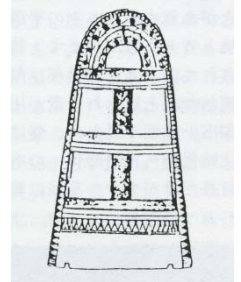
2 弥生土器は、縄文土器とくらべてどんなところがちがうか見くらべてみましょう。



やよいじん の たたか
弥生人の祈りと戦い ~ 銅鐸と矢じり ~
どうたく

弥生時代には、金属がつたわり、いろいろな青銅器せいどうきが作られました。また、ムラとムラのあいだにも争いがありました。

1 右の図のような青銅器は、米づくりのまつりに使われた道具だと考えられています。なんと呼ばれている青銅器でしょう。



2 もともこの青銅器は鳴らして使われていたものです。どんな音がするか鳴らしてみましよう。どんな音がするか、聞こえるままにかいてみましよう。

※鳴らせる青銅器は、常設展の出口にあるよ。

3 兵庫県神戸市桜ヶ丘からでてきた銅鐸にはどのような絵がかいてあるのでしょうか。どれでも1つスケッチしてみましよう。

4 下の写真は縄文時代の矢じりです。矢じりとは矢の先につけられた道具です。弥生時代の矢じりとくらべてみましよう。

① 弥生時代の矢じりをスケッチしてみよう。

② どちらか大きいかな？

弥生時代

縄文時代



② どちらがつよい力がありそうかな？

縄文時代の「矢じり」

弥生時代

弥生時代

縄文時代

④ 弥生時代の矢じりはどのように使われたのでしょうか。考えてみましよう。